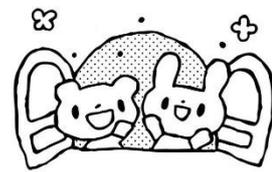


えんだより

キラキラ 2月



2025年2月3日
社会福祉法人尚徳福祉会
保土ヶ谷保育園

寒い日が続いていますが、日が当たる公園は暖かいので、天気の良い日は園外に出かけています。保育園ではお散歩に行くことが多く、地域の方々と触れ合うことも多くなります。そんな中、幼児クラスになると、車いすの方を笑ったり、通りすがりに「おばさーん」と声を掛けてしまったりすることがあります。ご家庭で過ごしているときも、このような場面があるのではないのでしょうか？

このような時どのような対応をすればよいのか？先日園内研修で話し合いました。日頃から地域の方々に職員がしっかり挨拶している姿を見せる、言ってしまった時は、お相手が不快なようだったら謝罪し、園に戻ってから、子どもたちに「言われた人はどういう気持ちなのか？投げかけてみよう」という結果になりました。また、絵本などで子どもたちに、「世の中には色々な人がいるんだ」ということを伝えてもいいのではないかと意見も出ました。早速、幼児クラスと、めだか文庫に「わたしのおとうと、へん・・・かなあ」「みんなとちがってもいいじゃない」「ぼくのつばさ」の本を購入しました。是非手に取って見てください。

2022年国連が日本に「特別支援教育の中止」を勧告しました。欧米は障害児と健常児がともに学ぶ、「インクルーシブ教育」が浸透していますが、日本は十分に進んでいないのが現状です。子どもたちが大きくなった時、「インクルーシブな社会」になるよう、少しずつ、丁寧に伝えていきたいと思っています。

園長 大日方 直美

「絵本の見方、読み方、選び方」

◇みなさん本を読んでいますか？

＊家庭で、父母が本をよく読むことと、子どもの読書量は関係しています。そして、子どもの漢字の読字や語彙力とも関係しています。

◇絵本の選び方

＊子どもも大人も楽しめること、何より読んであげる大人が楽しんでいることが大切・・・

◇絵本は、ベストセラーより、ロングセラー

＊初版から20年経っている本が理想です。(奥付)を確認・・・長い時間をかけて、子ども、保護者から受け入れられてきた作品。まずは定評のある作品が安心です。

◇子どもって、どうして同じ本を何度も読んでもらいたがるのだろう？

＊大人は同じ本は内容がわかっているから、同じ本は面白くないと感じる・・・子どもは、この絵本が面白いことを知っている、だからこの本がいい！と感じています。

◇絵本は読ませるものでなく、読んであげるもの・・・

＊身近な大人の膝の上などで、ぬくもりを感じながら、絵本を読んでもらった記憶は、いつか、愛されていた記憶として思い出し、その後の人生の支えになっていきます・・・

忙しい日々ですが、ちょっとした時間に読んであげられるといいですね。(めだか文庫も是非ご利用くださいね♪)

今月の予定

- 3日(月) 節分集会
- 14日(金) 英語で遊ぼう
- 15日(土) クラス懇談会
(きりん組以外のクラス)
- 19日(水) 避難訓練
- 25日(火) 幼児集会
- 3月1日(土)

新入園児面談
重要事項説明会

※重要事項説明をお聞きになりたい方は10:00にホールへお集まりください。

